

授業概要

「保育内容（環境）Ⅰ」をさらに発展させ、より領域内容についての理解を深めることを目的とする。より具体的に「環境を通した保育」の意味、「遊びをとおして通した保育」の意味について学ぶ。その際、より実践を意識し、遊びを発展させるには具体的にどのように環境を構成すればいいのか等について指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 授業の方向性、評価方法の確認
第 2 回	保育内容「環境」Ⅰを踏まえて
第 3 回	人的環境、物的環境、社会的環境、自然環境の意味の理解
第 4 回	環境における三層構造について
第 5 回	バーチャルな世界が意味するもの
第 6 回	自然環境としての生物との関わり
第 7 回	保育施設で見られる環境
第 8 回	指導案指導について
第 9 回	保育における身近な環境の意味
第 10 回	直接体験の重要性
第 11 回	環境としての文字、記号
第 12 回	模擬保育1 指導計画の作成
第 13 回	模擬保育2 子どもの前で保育することの意味
第 14 回	遊びを通した保育の意味
第 15 回	まとめ 環境問題を子どもと共有する意味について
第 16 回	筆記試験

到達目標

環境構成の視点を意識し、指導案を作成し、模擬保育を通して、環境の理解を意味し、保育実践につなげることができる。

履修上の注意

定時に出席を取る。遅刻は30分以内までの者とする。電車の遅延などは、大きな事故などの例外を除いて原則認めない。

予習・復習

予習としては、幼稚園教育要領、保育所保育指針の「環境」にあたる箇所をよく読んでおくこと。復習としては、保育の総合性を念頭に各領域との総合的に関連づけること。

評価方法

筆記試験の結果70%、授業態度30%とする。欠席が3分の1を超える学生は受験資格がないので留意すること。

テキスト

- ・教科書名：基礎から学べる保育内容「環境」
- ・著者名：田中卓也他 編著
- ・出版社名：あいり出版
- ・出版年（ISBN）：978-4865550870